

被災地・東北大から 原発全廃の闘いを宣言！ 学生自治会を甦らせよう！



7月8日、被災地・東北大の学生自治会が呼びかけた「反原発・大学奪還」の集会に150人が結集！！

◆東北大学生自治会の仲間

お忙しい中、東北大集会にお集まりいただき、ありがとうございます。海江田経産相が佐賀県の玄海原発再稼働を知事に要請したということですが、その時に海江田大臣は「原発の安全には国が全責任を負う、安全を保障する」とおっしゃいました。が、みなさん！ これはもしまた事故を起こしたら、海江田たち政治家、電力会社役員が率先して自ら対処にあたってくれるということでしょうか！ そもそもまず、福島第一原発の事故の責任を国がとっていますか？ 現実にはひきょうなウソを重ねて苦しいいいわけを繰り返し、批判から逃げているだけじゃないか。事故が起きたら被爆しながら現場で働くのは労働者じゃないか。まだこんな適当な発言がまかりとおっているのか。原発を推進してたんまりカネを儲けてきた政治家、電力会社、そして大学、口だけでなく全責任を取れ、と僕は言いたいです。

今回の事故で改めて明確になったことは、原発と人間は共存できない、そして、日本政府と電力会社には、原発を稼働する能力も資格もないということを僕は言いたいです。今までも新潟県の巻原発建設計画を根強い反対運動で撤回させたり、山口県の上関原発建設を事実上不可能に追い込みました。われわれが立ち上がり、怒りの声をあげることで、行政や大企業をひっくり返せる。そして、今声をあげないで、いつ声をあげるんだ。

残念なことに大学当局は特に法人化以降、国の出先機関となり、新自由主義、原発推進の片棒を担いできました。今、われわれの日就寮の仲間が東北大当局によって不当に弾圧されております。これが本当に大学のすることか。本来あるべき大学の姿を取り返さなくてははいけません。

今日は是非皆さんのお力をお借りして。東北大学自治会が今日の集会を団結して闘い抜こうと思っています。

「反原発8・6ヒロシマ世界大会」から 全学連大会（9月9-10日）へ！

全学連

全日本学生自治会総連合（織田陽介委員長）

Tel/Fax 050-3036-6464 mail_cn001@zengakuren.jp



◆東北大学学生自治会委員長・石田真弓君

東日本大震災から百日あまりが過ぎました。福島原発事故をめぐる状況は一切収束に向かわない。被災地の状況も、収束に向かっていない。こういう中で復興大臣の松本が「知恵を出さない者は助けない」こういうふざけたことをいって、ああいう政府にいるやつらが原発を推進し、他方で自らの金儲けのために復興を利用し、そして学生を労働者を殺していく、何よりも子どもたちを殺していく、こういう社会をつくろうとしている。こういう事に対する根本的な反撃として、私たちは原発に絶対反対の声をあげていく。

もう一つは、原発を推進してきた大学の腐敗です。長崎大学の教授が「放射能は大丈夫なんだ」「放射能はニコニコ笑っている人には影響はない、くよくよしている人に影響がでます」こんなふざけたことを言っている！これが大学教授なのか。これが学問なのか。僕らは本当に怒りをもって、この大学の腐敗を弾劾する。

被災地の大学から原発反対の声をあげていく、大学を学生の手に戻していき声をあげていく。福島大学の学生、あるいは広島大学の学生が大学から原発反対の声をあげなければいけないと集まってきている。学内からも、学生自治会、文化部サークル協議会、日就寮の仲間も集会に賛同して、集まってきています。今日は一日本当に団結をつくって闘い抜いていきたいと思います。



サークルの仲間も「仮サークル棟解体反対!」の声を上げた。

◆福島大生

福島大学の人は、動き方が分からないんだと思います。ですが、何もできないというのも違います。

こうして色々な人が動いているのが分かれば、たぶんみんなだって絶対動けるんだと思います。今福島大学に必要なのは、方法と空気です。みんなこのままじゃだめだとは絶対思っている。それをどう表に出したら良いか分からない。

だからわれわれがなすべきことは一つです。方法・道を示し、そしてできることから始めてもらえるように、友達に話すことです。

◆法政大・倉岡雅美さん

今日、時を同じくして千葉大学でも学内デモが行われています。来週は法政大多摩キャンパスでも学内デモが行われます。そして今、市ヶ谷キャンパスでは学園祭の規制をめぐって私たちの仲間が全学説明会で声を上げています。大学で行動したい、大学で議論したい、学内に仲間がほしい、学生としての当然の欲求がキャンパスからあふれ出ています。

3・11以降、学生の声も行動も一変している一方、大学側の立場、姿勢はどうでしょうか。彼らの語る言葉は、まったく同じで、「大学の決定だから、大学が決めたことだから従え」。学生の主体性も決定権も奪う一方で、責任や矛盾だけは学生に押しつける。彼らの守るのは経営であり経済であり資本家たちの利権であり、その利権を生み出す原発です。しかし、私たちが守るべきものは、私たちの命であり、ふるさとであり、子どもたちの未来であり、かけがえのない仲間です。

福島原発の事故を受けて、私たち学生のとるべき立場、進むべき方向とは、原発絶対反対であるし、キャンパスから原発を止めることであると私は思います。8月6日、全学連大会、法大からもともに進んでいきます。心を一つに頑張っていきましょう。



すべての核と原発をなくせ! 戦争とめよう!

8・6ヒロシマへ

菅来広・祈念式典弾劾デモ(早朝7時)

原爆ドーム前集会(9時)、8・6ヒロシマ大行動

全国学生集会(7日 10時)

※8月4日の夜に東京出発、青春18切符で行きます。

全原発の停止・廃炉! 「教育の民営化」と闘い
学生自治会を建設しよう!

全ての学生は全学連大会へ

【大会要項】

※ 日時 9月9日(金)～10日(土)

※ 場所 東京都内(行きたい方は連絡ください)

※ 参加費 1000円(会場費、資料代など)